

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	制作実習3	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	キャラクターデザインコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	課題が開始の際には仕様書を配布する。また内容に応じて素材や参考データを配布する。				
担当教員情報					
担当教員	奈良 篤男		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター	
学習目的					
各自の将来目指している仕事やジャンルを市場調査し、担当教員や講師とディスカッションする中で、目標や方向性をより具体化し、自身のスキルや方向性、考え方などを確立し作品制作を行う。またこの授業では実社会や業界でも通用するような個性的で高いレベルの作品を結実させるだけでなく、制作フローにおいても実社会と同様にスケジュール管理ができるようになることを目的とする。					
到達目標					
Adobe Photoshop、CLIP STUDIOのより実践に応じた技能を学び、2Dグラフィック制作の作業効率のアップを狙う。 また、イラストレーター・デザイナーとして自分の絵を活かすのに基礎的な画力や表現力を重点的に身に付け、各自が目指しているデザイン表現を養う事が目標である。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、目的をもった課題を行うことで技術力、思考力、表現力を向上させる。課題はデザイン案、ラフ、下書き、着色といった段階ごとに講師のチェックを行い常にフィードバックを受けながら制作を進める。また課題終了後は全員での作品講評会を実施し、他学生の作品と自身の作品を比較することで客観的に自身の作品を見られるようにする。 またこの授業は制作実習4と連動する。				
注意点	授業内の時間だけでは100%の作品制作を行うことが難しいので自宅でも制作するようにすること。またフィードバックやリテイクを恐れ講師や教員への確認をしないまま制作を進めることは授業の趣旨に反する為、必ず段階ごとにチェックを受けるようにすること。配布される資料だけに頼るのではなく自分自身で積極的に情報収集、資料収集すること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	課題内容を総合的に評価する。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	背景模写課題(1)		「金属」の写真資料を模写し、リアルな質感表現を学ぶ		
2回	背景模写課題(2)		「水」の写真資料を模写し、リアルな質感表現を学ぶ		
3回	背景模写課題(3)		「雲＋空」の写真資料を模写し、リアルな質感表現を学ぶ		
4回	背景模写課題(4)		「岩」の写真資料を模写し、リアルな質感表現を学ぶ		
5回	背景制作課題(1)		「金属」「水」「雲＋空」「岩」の要素を組み合わせ、オリジナル背景作品の制作し、授業内に提出		
6回	背景制作課題(2)		作品講評会を行いフィードバックを得えブラッシュアップを行い、制作物の完成度を上げる		
7回	グループワーク(1)		グループでのカードゲームのイラスト、UI等の制作		
8回	グループワーク(2)		フォントの知識を中心にロゴデザインの考え方と重要性を理解し、デザイン案の制作		
9回	グループワーク(3)		デザイン案をグループでディスカッションをし、デザインのすり合わせを行う		
10回	グループワーク(4)		課題のラフを制作し講師からのフィードバックを得え、線画作業を行う		
11回	グループワーク(5)		線画作業を行う①		
12回	グループワーク(6)		線画作業を行う②		
13回	グループワーク(7)		着色作業を行う①		
14回	グループワーク(8)		着色作業を行う②		
15回	グループワーク(9)		着色作業を行い、授業内に提出。作品講評会を行いフィードバックを得る		